

日々是Oracle APEX

Oracle APEXを使った作業をしていて、気の付いたところを忘れないようにメモをとります。

2020年12月29日 火曜日

アクセス制御の実装サンプル解説(2) - データ・ローディング

[こちらの記事](#)の継続になります。

元データとなるCSVファイルのダウンロード

以下のURLより、CSVファイルをダウンロードします。

https://apex.oracle.com/pls/apex/japancommunity/r/simcontents/download?id=Project_and_Tasks_ja.csv

Project, Task Name, Start Date, End Date, Status, Assigned To, Cost, Budgetの列が含まれています。以下はデータの一部ですが、全部で73行含まれます。

Project	Task Name	Start Date	End Date	Status	Assigned To	Cost	Budget
デモアプリケーション・フレーム	業務サーバーへのアプリケーション実装	2020/12/27	2020/12/27	Closed	三浦美奈	100	100
レガシー・サーバー移行	Oracleとの統合の実装	2021/2/3	2021/3/6	Pending	北本三郎	0	1500
パフォーマンス・アップグレード導入	フィギュアのシステム実装	2020/12/10	2021/3/3	Open	田中孝子	1500	4000
APEXウェブサイト構築	通信サーバー要件まとめ	2020/10/30	2020/10/31	Closed	田中孝子	100	200
サポート・システム運用	HRソフトウェアのアップグレード	2020/10/30	2020/12/27	On Hold	岡本一	8000	7000
サポート・システム運用	顧客システムの実装	2020/10/30	2020/12/31	On Hold	川口たけこ	9000	7000
APEXウェブサイト構築	Webサーバー構成決定	2020/10/31	2020/10/31	Closed	高橋実	100	100
APEXウェブサイト構築	ユーザー認証方式決定	2020/11/1	2020/11/3	Closed	田中孝子	200	300
APEXウェブサイト構築	開発、検証、本番用サーバー構築実装	2020/11/1	2020/11/6	Closed	高橋実	200	600
電子メール統合	計画決定	2020/11/6	2020/12/14	Closed	北本三郎	3000	1500
APEXウェブサイト構築	ワークスペースの構成	2020/11/6	2020/11/6	Closed	田中孝子	200	100
APEXウェブサイト構築	パイロット用ワークスペース作成	2020/11/6	2020/11/6	Closed	田中孝子	100	100
APEXウェブサイト構築	インストール実行	2020/11/8	2020/11/9	Closed	高橋実	100	100
バグ追跡システム	バグ追跡ソフトウェアの実装	2020/11/13	2020/11/13	Closed	森花子	100	100
バグ追跡システム	自動テストツール評価	2020/11/14	2020/12/15	On Hold	森花子	2750	1500

データ・ローディング・ウィザードの追加

ページ作成ウィザードを実行し、データ・ローディング・ウィザードのページ群をアプリケーションに追加します。

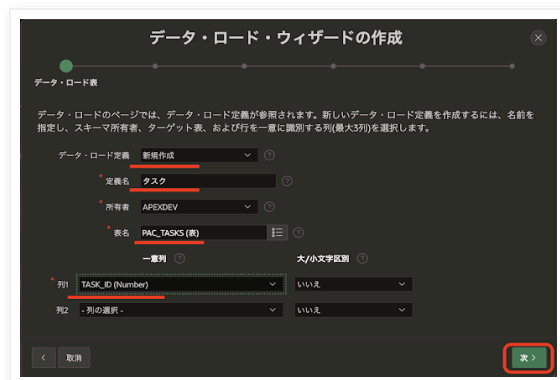
ページの作成を実行します。



データのロードをクリックします。

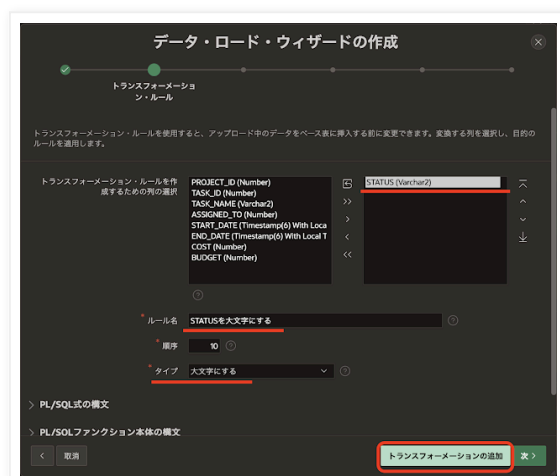


データ・ロード定義を新規作成します。定義名は任意ですが、ここでは**タスク**としています。所有者はそれぞれの環境で異なります。表名は**PAC_TASKS(表)**を選択します。一意列の列1として、**TASK_ID(Number)**を選択し、次に進みます。



トランスフォーメーション・ルールを追加します。CSVファイル中のStatus列はOpen、Closed、Pending、On-Holdと大文字と小文字で構成されていますが、表PAC_TASKSのSTATUS列はOPEN、CLOSED、PENDING、ON-HOLDで、大文字のみが登録可能です。ですので、取り込む際に大文字に変換するトランスフォーメーション・ルールを登録します。

トランスフォーメーション・ルールを作成するための列の選択として**STATUS**を選びます。ルール名は任意ですが、ここでは**STATUSを大文字にする**と設定しています。タイプとして**大文字にする**を選択し、トランスフォーメーションの追加をクリックします。

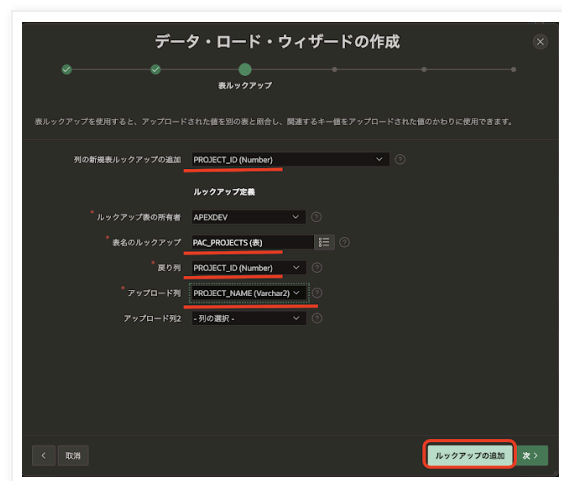


ルールの追加を確認し、**次**へ進みます。



CSVファイルに含まれるProject列はプロジェクト名ですが、表PAC_TASKSのPROJECT_IDは表PAC_PROJECTSのPROJECT_IDを参照する数値です。そのため、表ルックアップを設定することにより、PROJECT_NAMEをPROJECT_IDへ変換します。

列の新規表ルックアップの追加として、PROJECT_ID(Number)を選択します。ルックアップ定義の設定項目が表示されるので、表名のルックアップとして、PAC_PROJECTS(表)、戻り列として、PROJECT_ID(Number)、アップロード列として、PROJECT_NAME(Varchar2)を指定し、ルックアップの追加をクリックします。



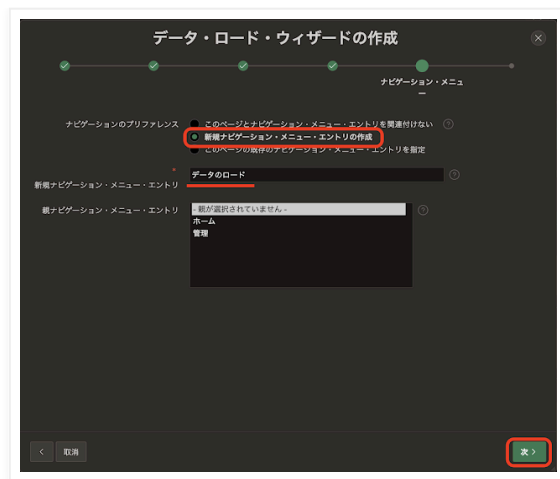
PROJECT_IDのルックアップが登録されているのを確認し、次にASSIGNED_TOについても同様に、人名から表PAC_EMPLOYEESのEMPLOYEE_IDを参照するようにルックアップを追加します。

列の新規表ルックアップの追加として、ASSIGNED_TO(Number)を選択します。ルックアップ定義の設定項目が表示されるので、表名のルックアップとして、PAC_EMPLOYEES(表)、戻り列として、EMPLOYEE_ID(Number)、アップロード列として、EMPLOYEE_NAME(Varchar2)を指定し、ルックアップの追加をクリックします。

追加されたASSIGNED_TOのルックアップを確認し、次に進みます。

ページ・モードをモーダル・ダイアログに変更し、次へ進みます。

ナビゲーションのプリファレンスは新規ナビゲーション・メニュー・エントリの作成を選びます。新規ナビゲーション・メニュー・エントリはデフォルトのデータのロードのまま、変更はしません。次に進みます。

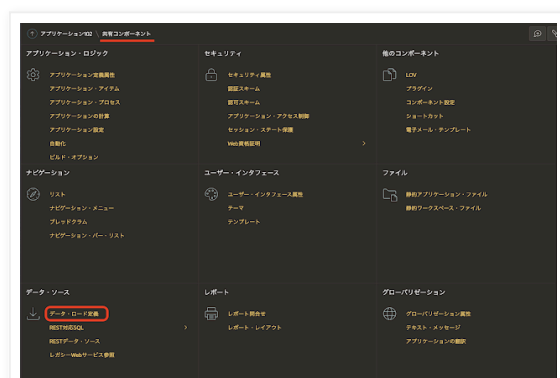


「取消」ボタンでブランチするページ、ページへの「終了」ボタン・ブランチ、双方ともに、とりあえずホームであるページ1に設定します。設定項目はこれで全てなので、作成をクリックします。

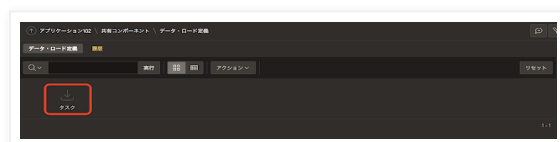


これで、データ・ローディング・ウィザードを構成する4枚のページが作成されます。

データのロードを実行する前に、データ・ロード定義に必要な変更があります。共有コンポーネントのデータ・ロード定義を開きます。



直前に作成したデータ・ロード定義、タスクを開きます。

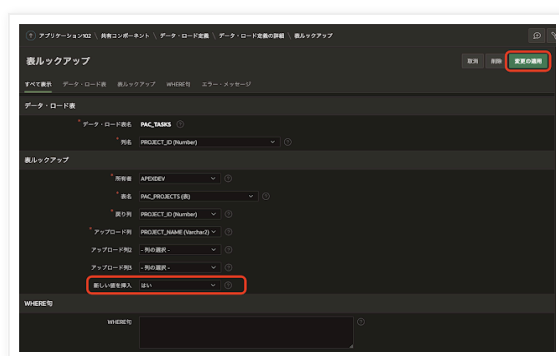


表ルックアップを参照します。リストに**新しい値を挿入**という列がありますが、**PROJECT_ID**はこの値が**いいえ**になっています。ASSIGNED_TOが参照する表PAC_EMPLOYEESにはすでに従業員情報が投入済みですが、表PAC_PROJECTSには、まだデータが投入されていません。表PAC_TASKSへのデータ・ロード時に表PAC_PROJECTSにデータが投入されるよう、この値を**はい**へ変更します。

列名の**PROJECT_ID**をクリックし、表ルックアップの定義を開きます。



新しい値を挿入を**はい**に変更し、**変更の適用**をクリックします。

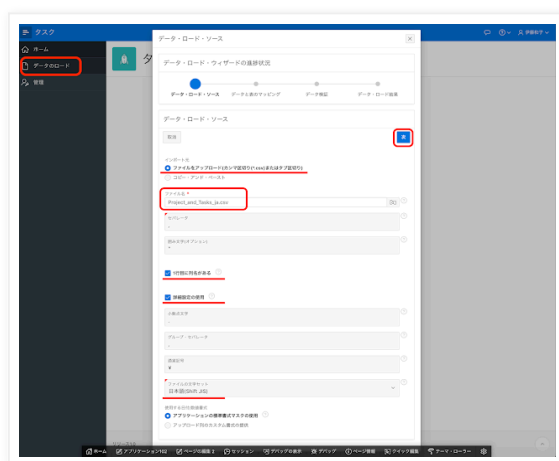


必要な変更は以上です。

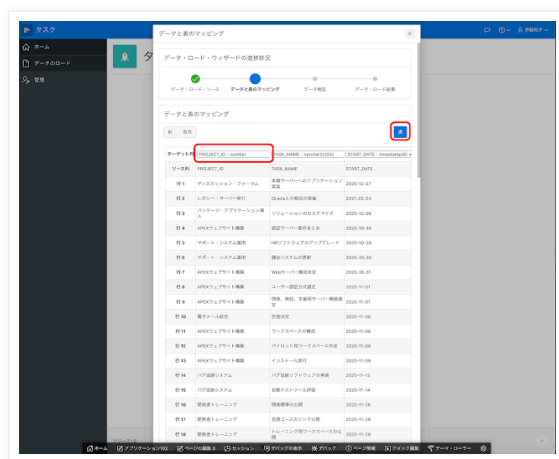
アプリケーションを実行し、**データのロード**を行います。

まだアクセス制御は実装していないので、ユーザーは誰を選択しても構いません。サインインをした後、サイド・メニューより**データのロード**を呼び出します。

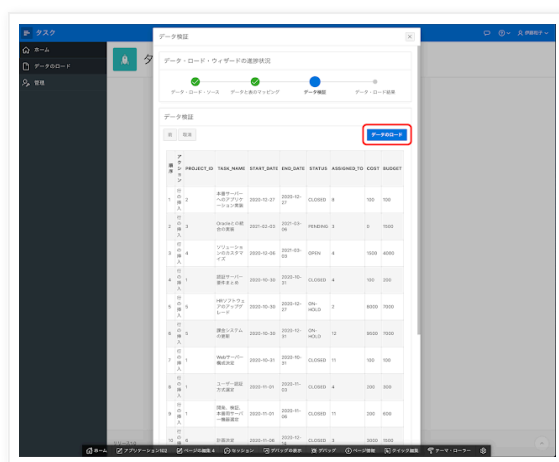
インポート元として、**ファイルをアップロード(カンマ区切り(*.csv)またはタブ区切り)**を選択し、**ファイル名**として記事の最初に指示しているリンク先よりダウンロードした **Project_and_Tasks_ja.csv**を設定します。**1行目に列名がある**のチェックを確認し、その下の**詳細設定の使用にチェック**を入れます。**ファイルの文字セット**の指定が現れるので、**日本語(Shift JIS)**を選択します。以上で**次**に進みます。



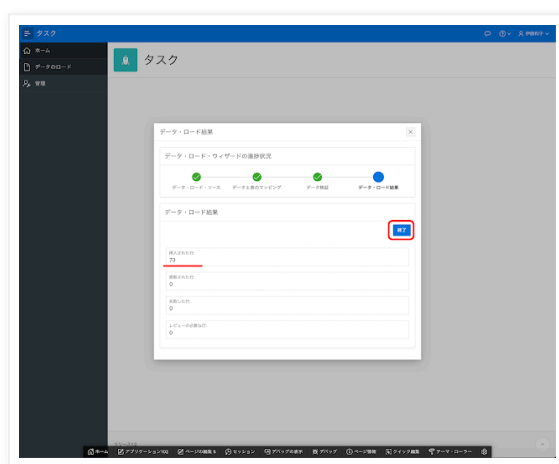
データと列のマッピングでソース列がPROJECTのみターゲット列がロードしないになっています。このターゲット列をPROJECT_ID(Number)に変更します。これ以外はCSVの一行目のソース列名と、表PAC_TASKSの列名が一致しているため、ターゲット列が適切に選択されます。ターゲット列がすべて適切に指定されていることを確認し、次へ進みます。



データ検証の結果を確認し、データのロードをクリックします。



挿入された行が73行であれば全行ロードが成功しています。終了をクリックします。



これでCSVファイルのアップロードが完了し、表PAC_TASKS、PAC_PROJECTSへデータがロードされました。データが準備できたので、次からはデータの操作を行う画面を実装していきます。

最初に実装するのは、ファセット検索です。

続く

Yuji N. 時刻: 23:26

共有

◀

ホーム

▶

[ウェブ バージョンを表示](#)

自己紹介

Yuji N.

日本オラクル株式会社に勤務していて、Oracle APEXのGroundbreaker Advocateを拝命しました。
こちらの記事につきましては、免責事項の参照をお願いいたします。

[詳細プロフィールを表示](#)

Powered by Blogger.